

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	平成 29 年度第 3 回 愛荘町立図書館協議会 会議結果(概要)
開催日時	平成 30 年 3 月 7 日(水) 19:30~21:15
開催場所	愛知川図書館
出席者	会 長 西澤 基治 委 員 大辻 登代子、川村 和人、北川 知栄子、辰巳 和美、 辻野 ミト子、野村 仁美、村田 賢司
事務局	教育長 藤野 智誠、図書館長 茶谷 えりか、図書館参事 小川 亜希子、 秦荘図書館 下村 今日子、小豆畑 千加子、愛知川図書館 三浦 寛二
傍聴者	0 人
議 題	(1)平成 29 年度行事の報告、図書館利用状況について (2)図書館に関する計画について (3)その他
審議内容	(1)平成 29 年度行事の報告、図書館利用状況について 平成 29 年度図書館利用状況、行事实施状況について、事務局より報告した。 (会長) 全国的に図書館の貸出冊数が減少している中、愛荘町の図書館はがんばっているほうだと思います。特にご意見がなければ、次の議題をお願いします。  (2)図書館に関する計画について (事務局) 図書館に関する計画についてご報告とご意見をお願いします。前回の図書館協議会で事務局より原案をご提示しましたが、今回原案を改訂した案を資料に添付しております。案全体についてご意見をいただきたいですが、特に子ども読書活動推進計画の指標について、一次計画同様このまま数値などを挙げるのか、ご意見をいただければと思います。 (会長) 図書館計画の評価の実施は、教育委員会の実施する評価を考えていますか。 (事務局) そのとおり、教育委員会の実施する評価を考えています。 (会長) 利用者アンケートはわかりますが、教育委員会の実施する評価はどのように実施されていますか。 (事務局) 教育委員会が実施する「教育に関する事務の点検・評価」と、町の実施する組織目標の評価があります。教育委員会の「教育に関する事務の点検・評価」

の評価の部分は、毎年会長にお願いしています。これらの評価を準用できればと考えています。子ども読書活動推進計画の指標の部分については、ぜひご意見をいただければと思います。

(会長)

小中学校の学校図書館や学校での読書の状況については、学校にもよるところが大きいと思います。

(委員)

指標では読書冊数や読書率を挙げていますが、学校では読書の目標を立てたり、読書冊数を把握するなど、独自に読書の推進をされているのでしょうか。

(事務局)

読書調査は県教委からの依頼で毎年5月の1か月間の読書数を調査しています。

(事務局)

読書の推進は学校によりますが、おそらく独自の目標を作られている学校はないと思います。

(委員)

計画の「学校図書館図書基準」とは何でしょうか。

(事務局)

文部科学省の作成した学校図書館の蔵書基準で、クラス数により満たすべき学校図書館の蔵書冊数が定められています。

(委員)

国からの予算措置はされていますか。

(事務局)

地方交付税の一括措置のため、ほかの事業に流用されているのが現状です。

(会長)

学級数での基準なら、児童数が増えると満たせなくなりますし、蔵書冊数だけで考えると学校図書館は古い本しか置いてないことになりますね。

(事務局)

子ども読書活動推進計画は、現在の一次計画が策定される前は町内の学校図書館に司書がない状況であり、学校図書館に人を配置することを最大の目標としていました。そのため、指標も小中学校を中心としたものとなっています。現在、少ない日数ではありますが、司書が学校図書館に配置され、小中学校の資料の支援を行っています。そのなかで、小中学生のほかに、0歳から18歳まで幅広く読書を進めるための方法のアイデアがあればぜひお聞かせいただければと思います。

(委員)

学校図書館は本好きの子どもが来るイメージがありますが、今の学校図書館の役割は読書を進めるだけでなく、資料を活用し自ら考える力を育成する場だと思います。愛荘町の学力調査の結果を見ると、資料を読み解き分析する力

がない。学校図書館の利用や読書量だけでなく、学校図書館を通じた授業の支援や資料の充実が指標になるのではと思います。

(事務局)

小中学校に司書が配置されてから、授業支援として団体貸出を実施しており、団体貸出冊数は増加しています。また、支援した内容を記録し、次年度以降の学校図書館の蔵書の選書に活かしています。

(委員)

読書冊数だけでなく、授業の支援や資料の支援も指標に入れて、学校図書館の活用をもっと先生方にもアピールできれば良いと思います。

(会長)

学校図書館に司書が行くのはとても良い試みだと思います。ぜひ続けていただきたい、拡充してほしいですし、すでに司書が学校図書館に配置されて数年が経過しており、ぜひ現状を視察できればとも思います。

先生向けには図書館の活用をPRできていますか。

(事務局)

町立図書館では先生向けの授業の作り方などの本を多数購入しており、学校の先生にも多数利用していただいています。

(委員)

指標は学校には伝わっていますか。

(事務局)

各学校の読書調査の結果と、全国平均、県平均、町平均を併せて各学校に通知しています。そこから先の読書の取り組みは、各学校それぞれでお願いしているところです。

(委員)

学校を介さずに、町立図書館が児童や生徒に直接読書を進める取り組みをしてみてもは。

(事務局)

秦荘中学校では、図書委員が率先して読書をしてほかの生徒に勧めることで、みんな本を読むようになりました。そのような流れができればいいと思います。

(委員)

それをどう指標にするのか、難しいですね。

(委員)

学校図書館に配置されている司書の役割は、学校での読書や資料支援を考えると役割が非常に大きい、重要な位置づけと思う。あとは、先生によるところが大きいのではないのでしょうか。

(委員)

先生の働き方改革により休み時間の短縮など、学校図書館に影響が出なければいいと思います。

(事務局)

先生や学年によっては、授業中でも空いた時間に学校図書館に来ることもあります。

(委員)

学校のどこに学校図書館があるかにもよると思う。秦荘中学校は本当にいい場所に、いい広さの学校図書館がある。

(事務局)

愛知中学校は、卒業展を愛知川図書館で開催したり、ビブリアバトルに参加してもらったりと、愛知川図書館と生徒とのつながりを大切にしながら運営してきました。

(委員)

広報あいしょうで、新成人の半分以上が町のいいところで図書館を挙げてくれています。数字よりも、町の誇りとなる図書館となるよう取り組みを続けてほしいと思います。数字ばかりを重視していると、本を読め読めといわれるとかえって嫌になるので。

(会長)

滋賀県が平均寿命がトップになった原因の一つに、図書館が充実しているからだと言いたいです。本を読むきっかけがいろんなところにあればよいと思います。このたび、愛知川駅に本を置くようになると聞きましたがいかがですか。

(事務局)

このたび愛知川駅と一ぶる愛知川に、町立図書館で除籍した本を置くことについて、ご内諾をいただいたので準備を進めています。自由に読んで、都合の良いときに借りた場所に返してもらえればと思います。次の協議会の時にはどのような状況なのかご報告できればと思います。

(委員)

図書館の支所ができるようなイメージですか。

(事務局)

そこまでは大きくないです。ちょっとした本のスペースです。3月中旬に愛知川駅に試行として設置する予定です。

(委員)

字内でもいろんな事情で図書館まで行けない人が大勢いるので、ぜひあちこちにそういうスペースができればいいなと思います。

(委員)

東近江市のコンサートで、当日のみ空きスペースが臨時駐車場になるまちじゅう駐車場のようを試みをしていました。その図書館版が愛荘町の地域全体でできればうれしいです。

(委員)

町長も変わって、図書館協議会としても図書館の必要性をきちっと伝えていきたいと思います。

(事務局)

計画につきましては、次回の図書館協議会で案を確定し、パブリックコメントを

	<p>実施する予定です。その後、パブリックコメントで出された意見を図書館協議会でご審議いただき、教育委員会へ答申する予定です。もしご意見などがございましたら、担当までお知らせください。</p> <p>(会長)</p> <p>本日はこれで終了します。</p>
問い合わせ先	愛知川図書館 連絡先 0749-42-4114